



さんが

第一一六号

京都市伏見区淀新町六一八一

令和五年

TEL 〇七五-六三一-二二七二

西暦 二〇二三年

FAX 六三二-五七二五

正月

曹洞宗 東運寺

E-MAIL sanga@tounji.net

謹賀新年

玉龍山東運寺

住職 柳田彰宣

徒弟 慧亮

侑亮

寺族 マヤ

妙子

画 妙子



令和となって五年目、時がたつのは速いな、と実感いたします。

東京オリンピックもワールドカップも、その間にありました。

コロナ禍もロシア・ウクライナ戦争も、その間に起こりました。

東運寺で言えば、先代住職が逝去し、徒弟ふたりが永平寺での修行を終えました。

今年も、いろいろなことがやってくるでしょう。目の前に不安となるものがあったとしても、兔のようには飛びこえていけるようにと願っています。

ご本尊さまのもと、東運寺も新しい年をむかえました。檀信徒皆さまのご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

徒弟ふたり帰ってきました

昨年十月、大本山永平寺にて修行の日々を送っていた、住職の徒弟ふたりが、送行（そうあん＝道場から下りてくること）の許可を頂いて帰ってまいりました。

一昨年の三月からですので、おおよそ一年七ヶ月を、永平寺で過ごしたこととなります。おかげさまで身体を壊すこともなく、元気に帰ってきましたので、こちらもホッとしています。

月々のご命日などで、住職とともにお参りもさせていただいております。これからひとりでお伺いする機会も増えるかと思えます。



ご迷惑をおかけすることがあるかも知れませんが、これからどうか見守り、お育てくださいましたら幸いです。

当日は八名の修行僧が、ともに送行しました。それぞれ地元での活躍が期待されます。



一年半に及ぶ修行を終えて、無事送行致しました。これもひとえに、支えて下さった師匠や家族、檀信徒の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。 侷亮

永平寺より送行致しました。大本山で学んだことを生かし、真摯に檀務に務めたいと思います。これから、どうかよろしくお願い申し上げます。 慧亮

団参に、行ってきました

昨年十一月、三年ぶりの団参に行ってきました。東運寺からは住職夫婦を含め、六名で参加しました。

当日はお天気にも恵まれました。明石の名刹、曹洞宗月照寺さまでの法要にお参りし、南京町で中華料理をいただき、船に乗って神戸港遊覧を楽しみました。

団参はこれからも企画されます。みなさまと一緒にできることを、楽しみにしております。



月照寺さまの山門は、伏見城の移築。明石市の指定文化財です。



↑ ホームページ



↑ お寺の日常

東運寺ホームページは→

京都 東運寺

検索